

入局・大学院入学のご挨拶

嶋崎幹大

2025年10月より金沢大学核医学診療科に入局、あわせて大学院に入学いたしました、嶋崎幹大と申します。富山県出身で、金沢大学を卒業後、現在は富山県内の病院で初期研修医として働いております。

私が核医学診療科を志望した経緯を簡単にお話ししたいと思います。

ここ数年、核医学では ^{131}I -MIBG療法やアミロイドPETの保険適用、 ^{225}Ac -PSMA療法の治験開始など、画期的な新規治療薬や検査が続々と世に出ていく流れにあり、それに伴い、核医学に興味を持つ人が増えていていると聞きます。私もそのうちの1人で、化学療法や手術では治療困難な疾患に新たな治療の選択肢を提供しうる核医学の可能性に大きく惹かれました。

図らずも、絹谷先生が入局された40年前も同様に、新薬が続々と登場した時期だったと伺っており、核医学の歴史の節目に立ち会えることを大変うれしく感じております。

また、当科には研究に熱心な先生が多く、入局に加え、大学院入学を決めた理由の一つであります。当初は臨床中心に考えていましたが、先生方が楽しげに研究の話をなさっていたり、実際に研究資金を獲得したり成果を重ねておられる姿を見て、研究の魅力を強く感じました。

研修医・専攻医と並行して大学院生をするのは中々ハードだと思いますが、直近で入局された吉田先生や上級医の先生方のご指導の下、頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

最後に、私が核医学診療科の医師として働くのはもう少し先になりますが、実習や食事会などを経て、とても雰囲気の良い、働きやすい科だと感じています。核医学に興味を持たれた学生、先生方はぜひ気軽に医局説明会や実習・研修にお越しください。